高等学校 × 総合的な探究の時間

総合的な探究の時間どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。

変わる所 7項目　解説PDF 1件



10秒でいうと

名称は現行どおり。自分の在り方生き方に関わる「マイ探究」を自分で進められる姿を目指す

高校の「総合的な探究の時間」は、名前は今のままです。標準単位数は、新しい単位の数え方で6〜12とする案です（今は3〜6単位）。高校段階では、自分の在り方生き方に関わる「マイ探究」を、自分で進められるようになることを目指すとされています。また、高校の道徳教育で在り方生き方を考える中心的な場面に、総合を加える方向です。

どこが変わる？現行⇔次期（高等学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

名称

現行	次期（審議まとめの案・告示前）
小中学校は「総合的な学習の時間」、高校は「総合的な探究の時間」	→ **小学校から高校まで一貫して**「**総合的な探究の時間**」とすることが適当とされた

P343

© 原田英語.com 次期学習指導要領ナビ（https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/）｜高等学校 総合的な探究の時間：どこが変わる？（マーカー比較）｜研修・校内での印刷・配布OK（連絡不要）

探究の質を考える視点

現行

「高度化」（整合性・効果性・鋭角性・広角性の4要素）と「自律化」（自己課題・運用・社会参画の3要素）で示され、分かりにくいとの指摘がある

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「**課題の質**」「**プロセスの質**」「**成果の質**」の3つの視点に整理して参考資料等で示す

P321

探究のプロセス

現行

平成20年改訂の「課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現」の4つの流れ。順に回すこと自体が目的化している例がある

→

次期（審議まとめの案・告示前）

4つの流れは**典型的な姿の一例**とし、課題の設定を強調。「振り返り」は様々な場面で随時行うものとし、プロセスの独立した一段階には位置付けない。課題によって「**研究系**」「**行動系**」「**創作系**」で進め方が違うことを示す

P324

© 原田英語.com 次期学習指導要領ナビ（https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/）｜高等学校 総合的な探究の時間：どこが変わる？（マーカー比較）｜研修・校内での印刷・配布OK（連絡不要）

評価規準のつくり方

現行

3観点を10の要素（視点）に分けた詳しい評価規準を単元ごとに作る扱いが例示され、細かな評価場面や評価材料集めが必要になっている（指導要録には身に付いた力を文章で端的に記述）

→

次期（審議まとめの案・告示前）

文章で記述する基本は維持しつつ、評価の視点例を**5要素程度**に絞る。細かな評価場面の設定は求めず、**形成的評価**と**自己評価**・**相互評価**を一層重視

P333 P335 ※現行の評価の流れ（10要素の評価規準作成）は資料編m4 P125・P127にも図示

総合で学校行事を代替できる範囲

現行

代替できる例として修学旅行等の「旅行（遠足）・集団宿泊的行事」と職場体験等の「勤労生産・奉仕的行事」、できない例として「文化的行事」「健康安全・体育的行事」の準備が挙げられるが、解説に曖昧さが残る

→

次期（審議まとめの案・告示前）

両方の目標・内容に照らした**学習の実態で判断**。「**儀式的行事**」と、文化的行事・健康安全・体育的行事の準備（学習発表会を除く）は**原則**代替しない。旅行・勤労生産の行事は**探究として成り立つ部分**だけ代替可能

P336

© 原田英語.com 次期学習指導要領ナビ（https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/）｜高等学校 総合的な探究の時間：どこが変わる？（マーカー比較）｜研修・校内での印刷・配布OK（連絡不要）

総合の目標を決めるよりどころ

現行

各学校の総合の目標は
学校教育目標との関連を図る

→

次期（審議まとめの案・告示前）

学校教育目標に加えて、校長が作る学校運営の「**基本的な方針**」とも関連を図る。目標を定める視点として「**重点化**」「**付加**」を示す

P334 ※資料編m4 P129に現行の総則・総合の記載との対比あり

考えるための技法

現行

比較する・分類する・
関連付けるなど10個の例が並べて
示されているだけで、考えを広げる
（発散）思考が含まれていない

→

次期（審議まとめの案・告示前）

当面「**発散**」の観点を加え、
「**発散と収束**」の観点から
分類して示す。学習方略とともに
使いやすく具体化

P337 P338

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの高等学校の総合的な探究の時間の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **総合的な探究の時間編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総合的な探究の時間編

学習指導要領の本文

PDF **高等学校学習指導要領（平成30年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

もっとくわしく

総合的な探究の時間の変更点（くわしく） 新旧比較（全校種） 高等学校の先生へ

資料室（高等学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。

© 原田英語.com 次期学習指導要領ナビ（https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/）｜高等学校 総合的な探究の時間：どこが変わる？（マーカー比較）｜研修・校内での印刷・配布OK（連絡不要）